

年度の終わりは何を口？

★3月までに開催された催しを紹介★

東秩父の期待の星「版画フォーラム実行委員会」が優秀賞受賞！

毎年、東秩父村和紙の里で開催されている「版画フォーラム」が、共同新聞社などが主催する「第10回地域再生大賞」において「優秀賞」を受賞しました。

この賞は各年度、都道府県それぞれの地域において、地方新聞社目線で見て、地域の再生に挑んでる活動団体を推薦し、賞を贈るものです。

大賞には、課題となっている「空き家対策」を行っている福井県の団体が受賞し、版画フォーラム実行委員会は大賞こそ逃したものの、「住民主体となった文化活動を展開し、小さな村であっても全国的な展覧会が開催できることを実証した功績」が高く評価され、「優秀賞」という荣誉ある賞を受賞することができました。

2月7日（金）には、東京都千代田区にある都市センターホールで表彰式が行われ、実行委員長の一柳俊一氏が出席し、地域再生大賞実行委員会委員長より賞状を授与されました。

版画フォーラム実行委員会は、「このような賞をいただくことができたのは、村をはじめ地域の方々や多くの支援者のおかげ」と考え、今年6月に「第17回版画フォーラム和紙の里ひがしちちぶ展」を開催すべく準備を進め、新型コロナウイルスに負けぬよう頑張っていきます。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

版画フォーラム実行委員会



来年も楽しみに…宿区（安戸）文化展！

2月25日の地元神社の祭典に併せ、宿区では2月23日（日）～25日（火）の間、「宿区文化展」を開催しました。今年は56人から113点の出展があり、和紙フラワーや習字など、多種多様な展示物が見る人の心を和ませました。

学問の神様にあやかり、習字を発表し合う機会を作ったことから発足したこの展示会は、今年で43回目の開催となりました。展示物の中には、今年開催予定の「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の公式マスコットキャラクター「ミライトワ」と「ソメイティ」のペーパークラフト（左横）などがあり、時世を象徴する作品も多くありました。

和紙で作った「和紙フラワー」は、今や新たな「村の文化の一端」となったように感じます。繊細に作られた花の一枚一枚が和紙の風合いにより、まるで生花のような出来上がりであり、花の匂いの代わりに、和紙の奥ゆかしき香りがします。

このような文化を発信する展示会、来年も開催が待ち遠しく思います。



▲写真提供
大久根 宏
（安戸）